



第4回IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ[®]

The 4th IUNS International Workshop on Capacity and Leadership Development in Nutritional Sciences

開催案内

主催

IUNS ワークショップ実行委員会

共同主催

日本学術会議 IUNS分科会

特定非営利活動法人日本栄養改善学会

公益社団法人日本栄養・食糧学会

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

母体団体

国際栄養科学連合 (IUNS)

ご挨拶

拝啓

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年12月11日・12日に、第4回 IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップを開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

本ワークショップは、食品・栄養学研究に関わる人材育成とネットワーク形成を図り、食と栄養を通じた人々の健康維持・増進のため、2010年、2014年、2017年に開催し、いずれも有意義な企画であったという評価を得ております。参加者の多くは、その後各国の食品・栄養科学の研究分野で活躍しています。

今回も、これまでと同様に、日本学術会議IUNS分科会、特定非営利活動法人日本栄養改善学会、公益社団法人日本栄養・食糧学会、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の共同主催で、各団体から数名の実行委員を出し、実行委員会を編成し、計画を進めています。

実施形態は、新型コロナウィルス感染症拡大のため、海外からの渡航が制限されていることを踏まえ、今回はオンラインで開催いたします。このワークショップを通じて、2022年12月6日(火)～11日(日)に延期になりました第22回国際栄養学会議（22nd IUNS-ICN、東京開催）の周知も行い、この参加者の増加も図りたいと考えております。ぜひ、食品・栄養学分野の若手研究者の方々に、ご案内いただきたく、お願い申し上げます。

末筆になりましたが、皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます。

敬具

日本学術会議 IUNS分科会
委員長 熊谷 日登美
(日本大学生物資源科学部 教授)

開催概要

会議名： 第4回IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ

The 4th IUNS International Workshop on Capacity and Leadership Development in Nutritional Sciences

主 催： IUNS ワークショップ実行委員会

共同主催： 日本学術会議 IUNS分科会

特定非営利活動法人日本栄養改善学会

公益社団法人日本栄養・食糧学会

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

母体団体： 国際栄養科学連合 (IUNS)

テーマ： Food system and nutrition intervention for sustainable healthy diets

目的： 食品・栄養科学研究に関わる人材育成とネットワーク形成、および、食品・栄養科学研究の最新知見を提供し、議論することにより、食と栄養を通じた人々の健康維持・増進を図る。

開催時期： 2021年12月11日（土）・12日（日）

開催場所： オンライン

実施方法： 事前にオンデマンドで配信する講義動画を視聴する。

5名程度の小グループに分かれ、各国のCountry reportを行った後、

各国の実情に応じた対策を考える。可能であれば、何らかの組織に所属していると仮定し、Commitmentを作成する。

最後に、全体の中で、グループディスカッションの内容を発表する。

参加者： 海外（主にアジア）の食品・栄養科学若手研究者 約20名

日本の食品・栄養科学若手研究者 約10名

企業の若手研究者（オブザーバー） 約10名

ワークショップ実行委員 17名

参加費： 無料

使用言語： 英語

事前講義：

- 1) Sustainable healthy dietとは
講師： 西 信雄
- 2) 食料システムと国連食料システムサミットの紹介
講師： 山口 美輪
- 3) 日本における健康的な食環境整備のための政策と戦略
講師： 林 芙美
- 4) プレシジョン栄養の実現に向けて
講師： 加藤 久典
- 5) 栄養プロファイリングシステムの概要と現状
講師： 加藤 久典
- 6) 日本とアジアの学校給食：社会経済格差の縮小と持続的なフードシステムに向けて
講師： 村山 伸子，関山 牧子
- 7) 社会経済的状況を考慮した「食事バランスガイド」に基づく日本型食生活
講師： 黒谷 佳代
- 8) 日本食のメリット・デメリットを踏まえた栄養学学術連合によるコミットメント作成
講師： 仲川 清隆，真鍋 祐樹，瀧本 秀美
- 9) 東京栄養サミットのCommitmentとは
講師： 西 信雄

プログラム：

12月11日（土）

- 13:00～13:05 開会挨拶
13:05～13:20 IUNS-ICN 紹介 加藤 久典
13:20～13:30 オリエンテーション 西 信雄
Group work 6つのBreakout roomsに分かれる
13:30～14:00 自己紹介（一人5分）
14:00～14:50 Country report（一人10分）
14:50～16:30 Discussion

12月12日（日）

- 13:00～13:05 全体でのアナウンス
Group work 6つのBreakout roomsに分かれる
13:05～14:50 Discussionまとめ
14:50～15:00 休憩
15:00～17:00 全体ルームで各Groupの発表
1 グループ（発表15分+質疑応答5分）×6グループ
17:00～17:05 閉会の挨拶

Group work とテーマ

グループ A：環境負荷をかけずに、持続的に動物性タンパク質を摂るにはどうしたらよいか

ファシリテーター： 豊島 由香，山口 勇将

【概要】

良質なアミノ酸スコアを有する動物性タンパク質を、環境に負荷をかけずに、持続的に摂取するための方法を共有し提案する。

培養肉や昆虫食、タンパク質の吸収性性向上など多様なアプローチが想定されるが、それらを実施する企業として収益性も考慮した提案を行う。

グループ B：意外と知らない日本食の特徴、そして海外からの評価ポイント

ファシリテーター： 黒谷 佳代，乙木百合香

【概要】

Nutrition Profiling や各国の食事ガイドラインなどを用い、

日本食と対比して、自国の食事を評価してもらい、より健康で持続可能

かつ実現可能な食生活の提案及びコメントメント作成をしてもらう。

グループ C & D：各国の食生活指針に基づく持続可能で健康的な食生活に焦点を当てた栄養介入

【概要】

Nutrition intervention の基本となる、食生活指針にフォーカスし、

健康面だけでなく持続可能性を考慮した食生活指針に基づいた栄養介入の取り組みについてコメントメントを作成する。

グループ C：「政府・研究機関」の立場から

ファシリテーター： 林 茜美，村山 伸子

グループ D：「民間」の立場から

ファシリテーター： 関山 牧子，三好 美紀

グループ E & F：

【概要】

参加者は公益法人（NGO）の幹部という設定で議論する。各テーマに沿って自国の課題を明らかにするとともに、各国共通の根本原因（root cause）であるグローバルな課題を見出し、啓発および政策提言となるコメントメントを作成する。

グループ E：動物性から植物性蛋白源摂取への転換に関する国際的な政策提言

ファシリテーター： 西 信雄

グループ F：減塩の戦略に向けた国際的な政策提言

ファシリテーター： 山口 美輪

実行委員名簿

氏 名	所 属	所 属 団 体
家光 素行	立命館大学	日本学術会議 IUNS 分科会
稻垣 暢也	京都大学	日本学術会議 IUNS 分科会
加藤 久典	東京大学	日本栄養・食糧学会
乙木百合香	東北大	日本栄養・食糧学会
熊谷 日登美	日本大学	日本学術会議 IUNS 分科会
黒谷 佳代	昭和女子大学	日本栄養・食糧学会
清水 誠	東京大学・東京農業大学	日本学術会議 IUNS 分科会
関山牧子	国立環境研究所	日本栄養改善学会
竹中 麻子	明治大学	日本学術会議 IUNS 分科会
豊島 由香	宇都宮大学	日本栄養・食糧学会
仲川 清隆	東北大	日本栄養・食糧学会
西 信雄	国連健康・栄養研究所	国連健康・栄養研究所
林 芙美	女子栄養大学	日本栄養改善学会
三好 美紀	青森県立保健大学	日本栄養改善学会
村山 伸子	新潟県立大学	日本栄養改善学会
山口 美輪	国連健康・栄養研究所	国連健康・栄養研究所
山口 勇将	日本大学	日本栄養・食糧学会

応募方法 下記のフォームから、9月30日（木）までにお申し込みください。

写真（6ヶ月以内に撮影したもの）および推薦書が必要になりますので、ご準備ください。

<https://forms.gle/mD9EhYTLfPbXtiDC6>

審査結果は、10月31日までにご連絡いたします。

問い合わせ先： IUNS Workshop 2021 事務局

熊谷 日登美

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866

日本大学生物資源科学部生命化学科食品化学研究室

TEL: 0466-84-3946

E-mail: IUNS.Workshop2021@gmail.com